

人形浄瑠璃

文楽

二〇二五年度

地方公演ご案内

解説・字幕付き

近松門左衛門 (1653-1725)
没後300年
不朽の名作「曾根崎心中」
を上演いたします

ぶん らく 文楽 とは

物語を語る「太夫」、情景を音で表現する「三味線」、
一体の人形を三人で遣う「人形」、この三業が一つとなって
舞台から客席へ感動をお届けする、
日本が世界に誇る伝統芸能です。

■2025年度上演予定演目

昼の部

午後一時三〇分開演 (標準開演時刻)

解説 (あらすじ)

よし つね せん ほん ざくら
義経千本桜
みち ゆき はつ ねのたび
道行初音旅
しん ばん うた ざい もん
新版歌祭文
の ざき むら
野崎村の段



道行初音旅

夜の部

午後六時開演 (標準開演時刻)

解説 (あらすじ)

近松門左衛門没後三百年
近松門左衛門=作 野澤松之輔=作曲・脚色
そ ね ざき しん じゅう
曾根崎心中
いく たま しゃ せん
生玉社前の段
てん ま や
天満屋の段
澤村龍之介=振付
てん じんのもり
天神森の段



天満屋の段

■公演期間と地域

2025年

(令和7年)

11月公演

カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	1	2	3	4	5	6

2025年11月6日(木)～11月24日(月・祝)

近畿・中部・北陸・関東・東北・北海道の各方面

※申込締切：2024年8月30日(金)

2026年

(令和8年)

3月公演

カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

2026年3月5日(木)～3月22日(日)

九州・四国・中国・近畿・中部・関東の各方面

※申込締切：2024年11月15日(金)

■公演契約金

宿泊を伴う場合

- ◎平日 一日 3,630,000円(消費税込)
【消費税抜き本体価格 3,300,000円】
- ◎土日祝 一日 3,850,000円(消費税込)
【消費税抜き本体価格 3,500,000円】

大阪近郊で宿泊を伴わない場合

- ◎平日 一日 3,190,000円(消費税込)
【消費税抜き本体価格 2,900,000円】
- ◎土日祝 一日 3,410,000円(消費税込)
【消費税抜き本体価格 3,100,000円】

○原則として一日二回公演(昼の部・夜の部)を前提とした公演契約金を表示しています。

ただし、同じ演目を一日二回上演すること、昼の部と夜の部の演目を入れ替えて上演することはできません。また二日間や三日間続けて上演したいなど、変則的なパターンをご希望の場合はお気軽にご相談ください。

■経費負担区分（主な目安）

公演契約金に含まれるもの	公演契約金に含まれないもの
<ul style="list-style-type: none"> ●出演料 ●大道具費 ●大道具人件費（舞台監督料を含む） ●交通費 ●宿泊費（宿泊を伴う地域のみ） ●輸送費（通行料も含む） ●照明プランナー費（1名） ●字幕機材および字幕オペレーター費 ●著作権使用料（広報用写真素材の支給も含む） ●出演者および帯同スタッフの食事 ●事務経費 ●消費税 	<ul style="list-style-type: none"> ●公演にかかる会館使用料・楽屋使用料、付帯設備使用料および備品借用料（舞台管理経費および増員経費も含む） ●現地照明費（ピン操作のできる技量の方を3名）※ ●搬出入補助経費（5～6名程度）※ ●本火使用等の所轄消防への禁止行為解除申請手続（使用時のみ） ●舞台上で使用する現地調達が必要な消え物（使用時のみ） ●音響経費 ●影アナウンス経費 ●広報および宣伝広告費 ●ケータリング費（出演者向けの簡単な茶菓の提供） ●主催者側スタッフ（現地手配スタッフも含む）の食事 ●券売および公演当日の表方の運営

※主催者様には現地照明係員3名、大道具の搬出入の手伝い5～6名をご手配いただきます。それぞれの手配ならびに経費は主催者様のご負担となります。



出演者によるあらすじ解説



字幕付き上演



物販用プログラム

■公演を成功に導くために

解説・字幕付き はじめての方にもわかりやすいです

- チラシ・ポスターは文楽協会で作成したものを、実費でお分けすることができます。
- 館内広報にお使いいただけるDVDをご用意します。
- 文楽って難しい？ そんなイメージが一気に払拭でき、券売にも効果的な事前レクチャーの開催が可能です（日程・料金別途要相談）。

■公演のお申し込み締切

【2025年11月公演】 締め切り/2024年 8月30日（金）

【2026年 3月公演】 締め切り/2024年11月15日（金）

主催事業がまだ決まらない…締め切りに間に合わない場合や上記締め切り後でもお気軽にご相談ください。また、予定していた主催事業の急な変更など、スケジュールがうまく調整できればお受けできる場合も多々ございますので、まずはご相談ください。

■助成について

本ご案内「文楽地方公演」は文化庁文化芸術振興補助金による助成が採択された場合、全国画一の公演価格で文楽公演を提供することが可能となることを前提としております。本ご案内については全国すべての会場における文楽公演について、一つの助成活動とした上で、助成を文楽協会が申請する予定です。従いまして、本公演をお考えの主催者様におかれましては、同種助成金（音楽堂活性化等）・文化庁助成について申請をされる場合に、文楽公演部分については重複申請とならないようご注意ください。

■劇場機構条件

※一例ですので、条件に満たない場合はお気軽にご相談ください。

- 舞台間口…8間以上（プロセキアム間口で）
- 舞台奥行…4間以上（どん帳から）
- 舞台袖…1間半（上手・下手ともに）
- 吊り物バトン…4本程度（どん帳線より2間下がったところから舞台奥へ）
- 貴館所有の平台と箱馬の数と寸法をお知らせください。（間口8間、奥行2間、高さ1尺くらいの二重舞台を組める平台・箱馬が必要です）
- 太夫台を上手客席に張り出します（どん帳ギリから高さ2.1尺、奥行5尺で長さ21尺の台を持ち込みます）ので、その分客席がつぶれることになります。
- 基本的に乗り打ちとなり公演当日の朝9時に仕込みを開始いたします。片付け・撤収には夜の部の上演終了から約1時間30分必要です。
- 4トントラック二台が駐車できるスペースが必要です。

■お問い合わせ・お申し込み先

別紙（送り状裏）「文楽公演申込書」にてお申し込みください。舞台の平面図・側面図・照明設備図・客席図・楽屋図をご同封ください。

（ご送付・お問い合わせ先）

公益財団法人文楽協会

〒542-0073 大阪市中央区日本橋 1-12-10
 TEL 06-6211-1350 FAX 06-6211-3609
 地方公演担当 水落 学（みずおち）
 e-mail : mizuochi@bunraku.or.jp

◇義経千本桜

道行初音旅

浄瑠璃三大傑作のひとつで、人形浄瑠璃の全盛期、延享4年(1747)に大坂の竹本座で初演された、二代竹田出雲、三好松洛、並木千柳合作の五段の時代物。四段目の、満開の桜を背景にした道行は、道行の最高傑作とされ、目も耳も圧倒される極めて華麗な舞台です。

平家滅亡後、兄源頼朝に追われる義経が吉野にいと知った愛妾静御前は、義経の忠臣佐藤忠信に伴われ、吉野へ。道中、義経から与えられた鼓を静が打つと、必ずどこからともなく姿を現わす忠信。その正体は狐…。忠信がどう登場するか、また静から忠信への豪快な扇の投げ渡しも、見どころです。

◇新版歌祭文

野崎村の段

歌祭文によって世間に広まった、大坂の油屋の娘お染と丁稚久松の心中(1710)。この事件から生まれた多くの

作品中、最も有名で人気のある、近松半二の二巻の世話物で、安永9年(1780)、竹本座初演。大阪府大東市を舞台とする上の巻の「野崎村」には、それまでのお染久松物にはなかった新たな悲恋がみごとに描かれています。

野崎村の百姓久作が縁あって育てた久松は、久作の妻の連れ子おみつの許婚でありながら、奉公先の娘お染と恋仲。決して許されない主従の恋を危ぶんだ久作は、久松が実家へ戻されたのを幸い、すぐにおみつと結婚させることに。諦めかけていた祝言が、突如、現実のものとなり、おみつは大喜び。

一方、この恋が叶わぬときには死ぬ覚悟で、久松のあとを追って来たお染。久松も心中を決意。けれども、人の道に背くこの恋を諦めるよう、久作に諭され、心ならずも別れを約束しました。二人を死なせたくない、おみつを幸せにしてやりたい、その願いが叶ったと久作が喜んだのも束の間、花嫁姿のおみつは、実はすでに髪を切り、俗世を捨てた尼に。二人の本心は心中と見抜き、命を助けるため二人を添わせようと、自身の幸せを諦めたのでした。

悲しみから一転、段切は、名曲として知られる旋律を三味線がツレ弾きで華やかに奏で、人形が笑いを誘います。

近松門左衛門没後三百年

近松門左衛門=作 野澤松之輔=作曲・脚色

◇曾根崎心中

生玉社前の段・天満屋の段・天神森の段

元禄16年(1703)、露天神社(大阪市北区)で起きた心中事件を題材として、その一月後に竹本座で初演され、大好評を博した近松門左衛門の世話物第一作。それまで歴史や伝説といった過去の物語のみを題材として来た浄瑠璃に、同時代の身近な事柄を描く新分野「世話物」を確立した、画期的な作品です。現在上演されているのは、1955年に、野澤松之輔の脚色・作曲により大阪の四ツ橋文楽座で復活上演されたもので、原作のままではありませんが、海外での評価も高く、文楽を代表する演目となっています。

醬油屋の手代徳兵衛は、天満屋の遊女お初との愛を貫くため、主人からもちかけられた縁談を断固として拒絶。激怒した主人に命じられたのは、継母が知らぬ間に話を決め

て受け取っていた持参金を返すこと、そして、大坂追放でした。お初に会えなくなる危機。継母から取り戻した金を早く返して、主人の気持ちを和らげたい…。ところが、その大切な金を友人の九平次にだましとられたうえ、衆人環視の中、証文偽造の罪を着せられ、打ちのめされるはめに。金も面目も失い、もはや生きてはいられなくなりました。

その夕方、天満屋では、早くも徳兵衛の噂でもちきり。お初は、店の外で死の覚悟を告げる徳兵衛を襦袢の裾に隠し、ひそかに店の縁の下に忍び込ませます。九平次の中傷に怒りで身を震わせる徳兵衛。一緒に死ぬとの言葉とともに足で返事を促すお初。徳兵衛はその足を押し戴いて涙。このように、誰にも気づかれず、足で心確かめあった二人は、深夜、店を抜け出し、曾根崎の天神の森で心中しました。

緑の下と女性の足を見せる演出が独特の「天満屋」。「この世の名残、夜も名残…」、名文と讃えられた「天神森」の道行。哀しくも美しい心中場面。二人の心情がまっすぐに伝わって来る舞台です。

料金後納

ゆうメール

公益財団法人文楽協会
〒542-0073
大阪市中央区日本橋 1-12-10
TEL.06-6211-1350 FAX.06-6211-3609

[差出人]
LNET
[返還先]
〒541-0043
大阪市中央区高麗橋 4-1-1 興銀ビル2階
(株式会社広済堂ネクスト)事務局内
LNET 郵便代行事務局

2024年 6月

各 位

拝 啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、(公財)文楽協会では全国の皆様方に、わが国の代表的な芸能「文楽」を身近に鑑賞していただくために、文化庁ならびに(独)日本芸術文化振興会の助成を得て、毎年11月と3月に「文楽地方公演」を実施しております。

2025年度文楽地方公演は次にご案内いたします馴染み深い演目で全国各地を巡演してまいります。

〈昼の部〉

よし つね せん ほん ざくら
義経千本桜
みち ゆき はつ ねのたび
道行初音旅
しん ほん うた ざい もん
新版歌祭文
の ざき むら
野崎村の段

〈夜の部〉

近松門左衛門没後三百年
近松門左衛門=作 野澤松之輔=作曲・脚色
そ ね ざき しん じゅう
曾根崎心中
いく たま しゃ ぜん
生玉社前の段
てん ま や
天満屋の段
澤村龍之介=振付
てん じんのもり
天神森の段

日頃、文楽に親しんでいただく機会の少ない多くのお客様から「浄瑠璃を聞きたい」、「まるで生きているような人形を見てみたい」というお声をたくさんいただいております。

この機会に太夫・三味線・人形三位一体で醸し出す「文楽」のすばらしさをより一層楽しんでいただければ幸いです。技芸員をはじめ文楽協会一同努めてまいります。

日頃から「文楽」に深いご理解と温かいご支援をいただいておりますことに、改めてお礼申し上げますとともに、日本が世界に誇ります伝統芸能「文楽」を、どうぞご当地で開催していただきますよう、心からお願い申し上げます。

敬 具

2025年度 文楽公演申し込み書

※お申し込み締め切り：2025年11月公演は2024年 8月30日
2026年 3月公演は2024年11月15日

公演希望日

公演月	順位	希望日	公演回数	備考
11月公演	第1	月 日()		①公演期日は11月6日～11月24日を予定 ②公演回数は原則として昼・夜2回
	第2	月 日()		
	第3	月 日()		
3月公演	第1	月 日()		①公演期日は3月5日～3月22日を予定 ②公演回数は原則として昼・夜2回
	第2	月 日()		
	第3	月 日()		

☆全国各地区を順を追って公演しますので、希望日は参考とさせていただきます改めて日程調整をさせていただきます。
また土曜日・日曜日・祝日はご希望が多いため要望に添えない場合があります。

公演会場

名称			
所在地	〒()		
連絡先	電話		FAX

添付資料 (添付の場合は○印をつけて下さい)

図面	有・無	備考
舞台平面図		
舞台側面図		
照明設備図		
客席図		
楽屋図		

平台・箱馬数

平台	寸法	台数
箱馬		

主催者

ふりがな		ふりがな	
名称		担当者	
課・係等		E-mail	
電話・FAX			
ふりがな			
所在地			

お申し込み月日

年	月	日
---	---	---